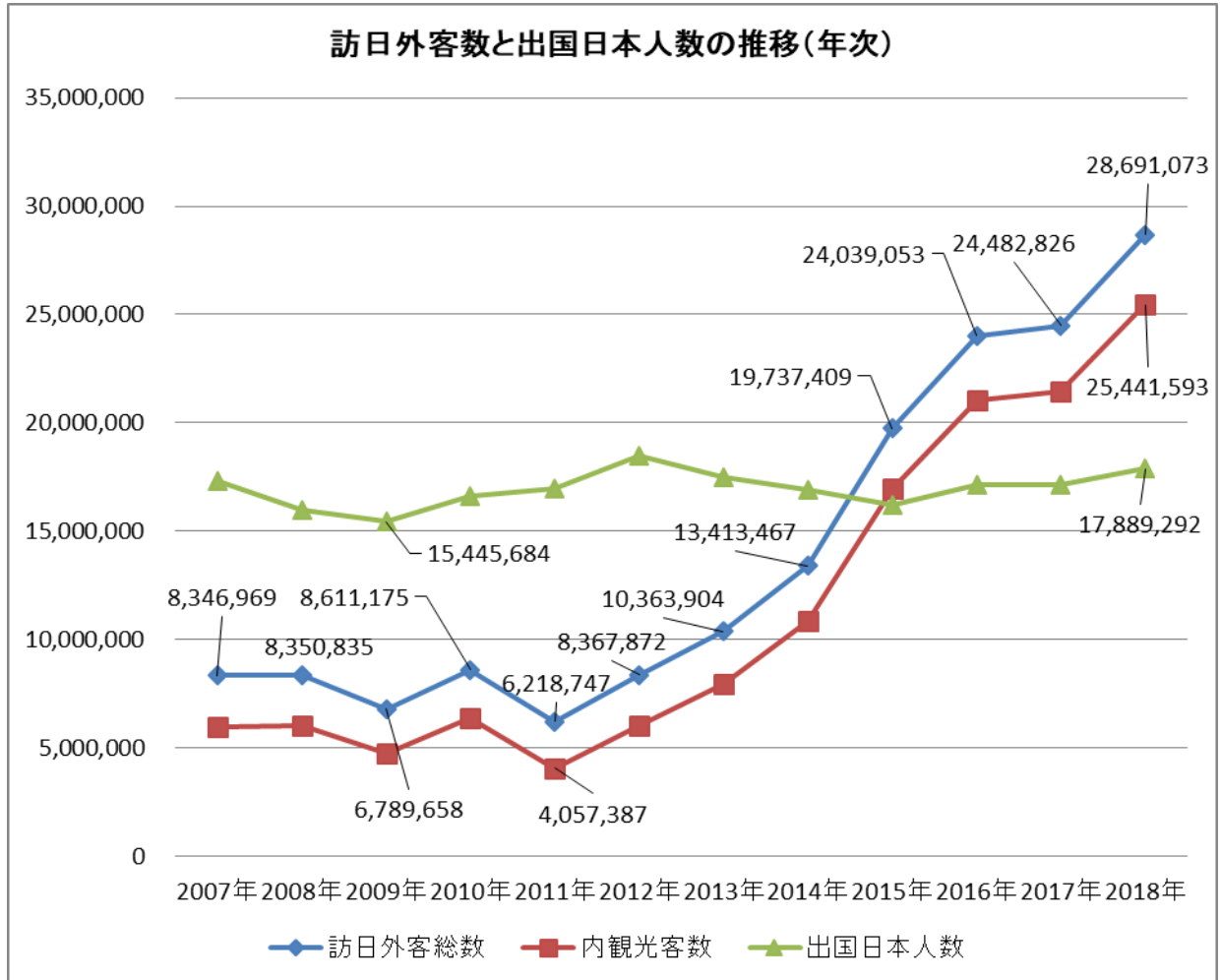


訪日外客数等に関するデータ（2018年2月速報値まで）

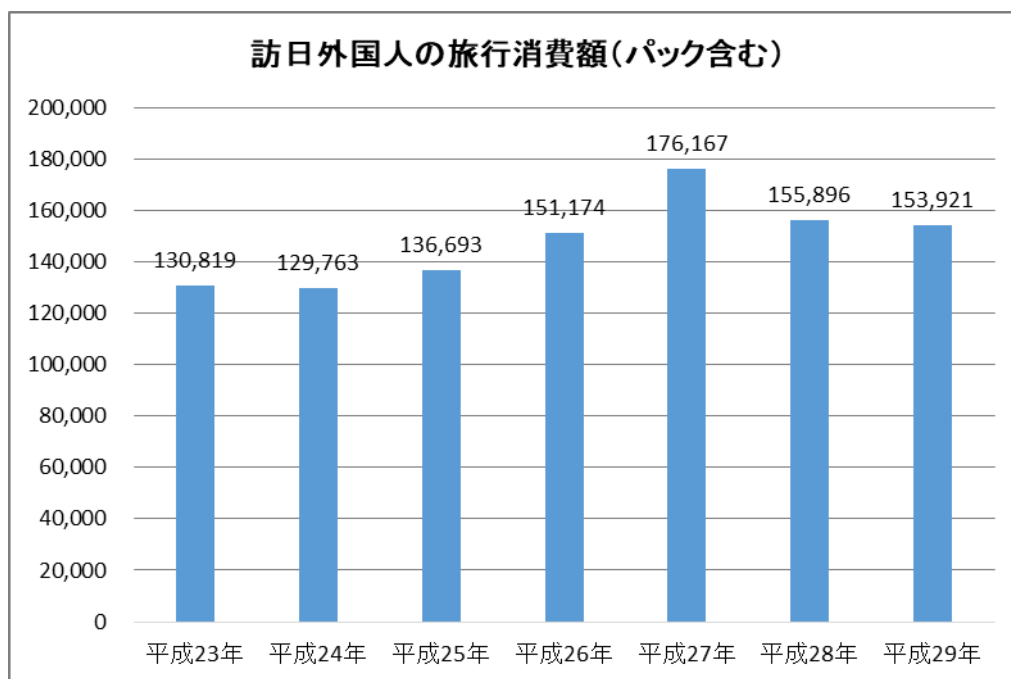
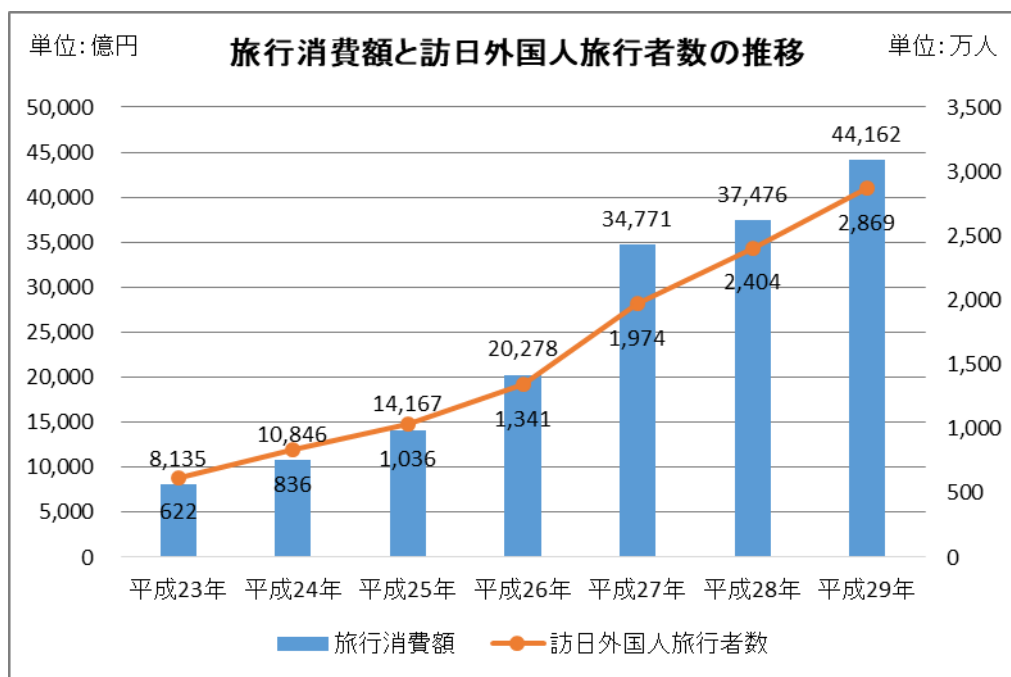
1. 訪日外客数と出国日本人数の推移（年次）



訪日外客数は2011年を底に、大幅に増加しています。特にビザの発給要件の緩和や円安効果によりロシアを除く多くの国の訪日外客数が過去最高を更新しています。2020年開催の東京オリンピックまでの目標数値2,000万人が3,000万人へと変更になっていますがこれも今の勢いであれば達成可能が確実視されています。

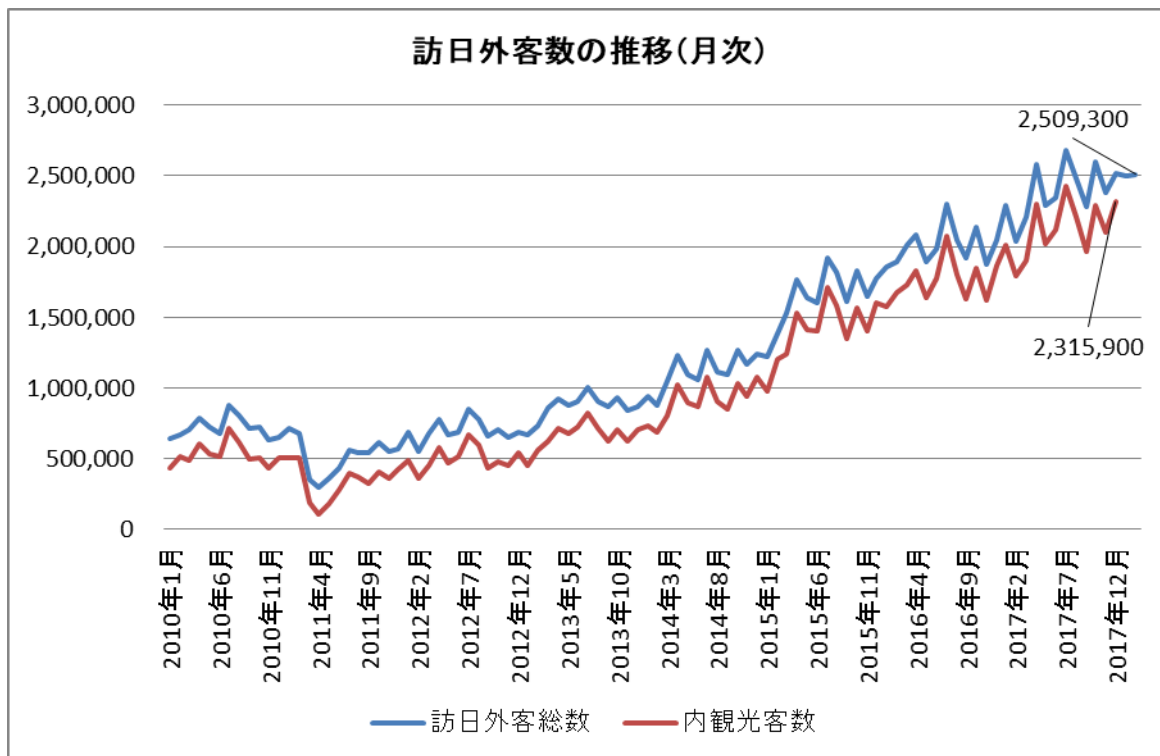
東京都心、大阪、京都ではホテル不足が深刻化していますが、ここきてホテルの新設ラッシュや民泊施設の大幅増加と認知度の高まりに伴い、過去最高の訪日外国人数になり、ホテルの客室稼働率は高稼働率を維持していますが、高くなりすぎた宿泊費は地域によっては一部値下げが行われており値段は踊り場の状態となっています。また6月から施行される住宅宿泊事業法（民泊新法）の影響がどのような影響を与えるか注目が集まっています。

旅行者数は増加の一途をたどっていますが、一人当たりの旅行消費額は減少傾向にあります。日本製品をネットで購入する環境整備が進み、また、何度も訪日している観光客が物ではなく、文化の体験等に消費を変えていることが大きな要因と言われています。但し訪日外客数は増加し続けており、化粧品や衛生用品などでは一部売り切れが出ています。

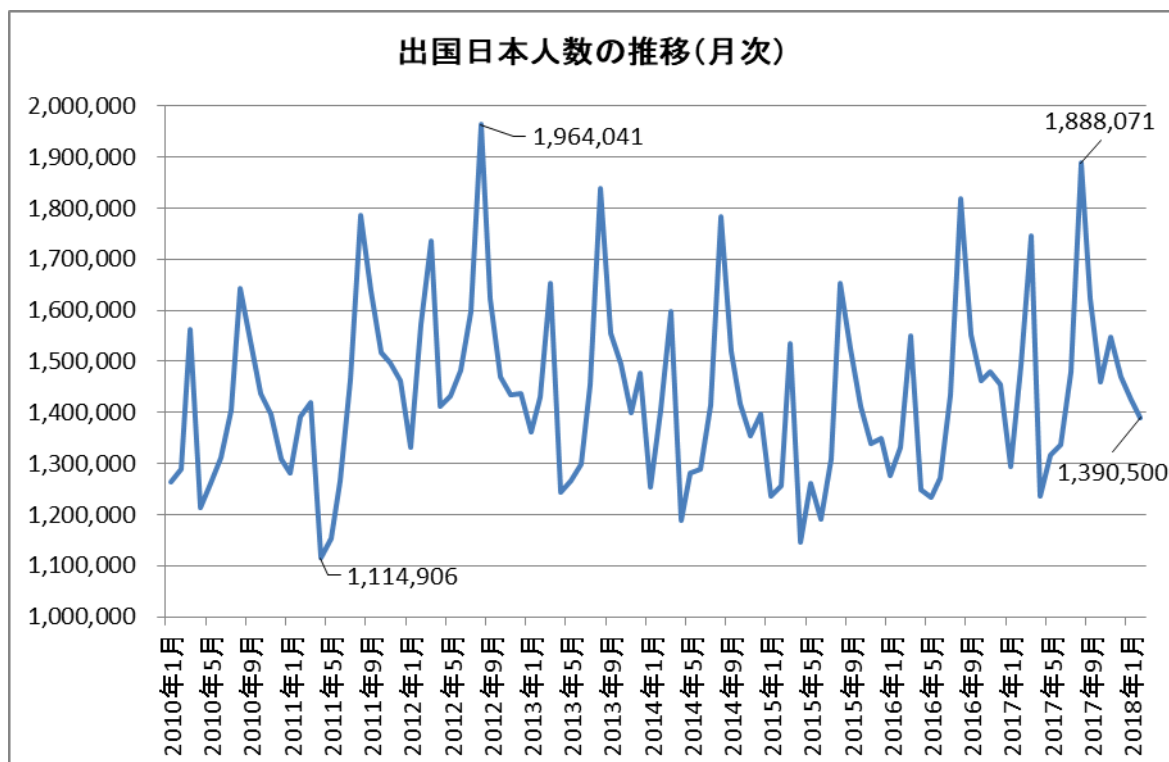


※ 上記費用には訪日外国人が日本の航空会社及び船舶会社に支払う国際旅費運賃（往復）は含まれていません。

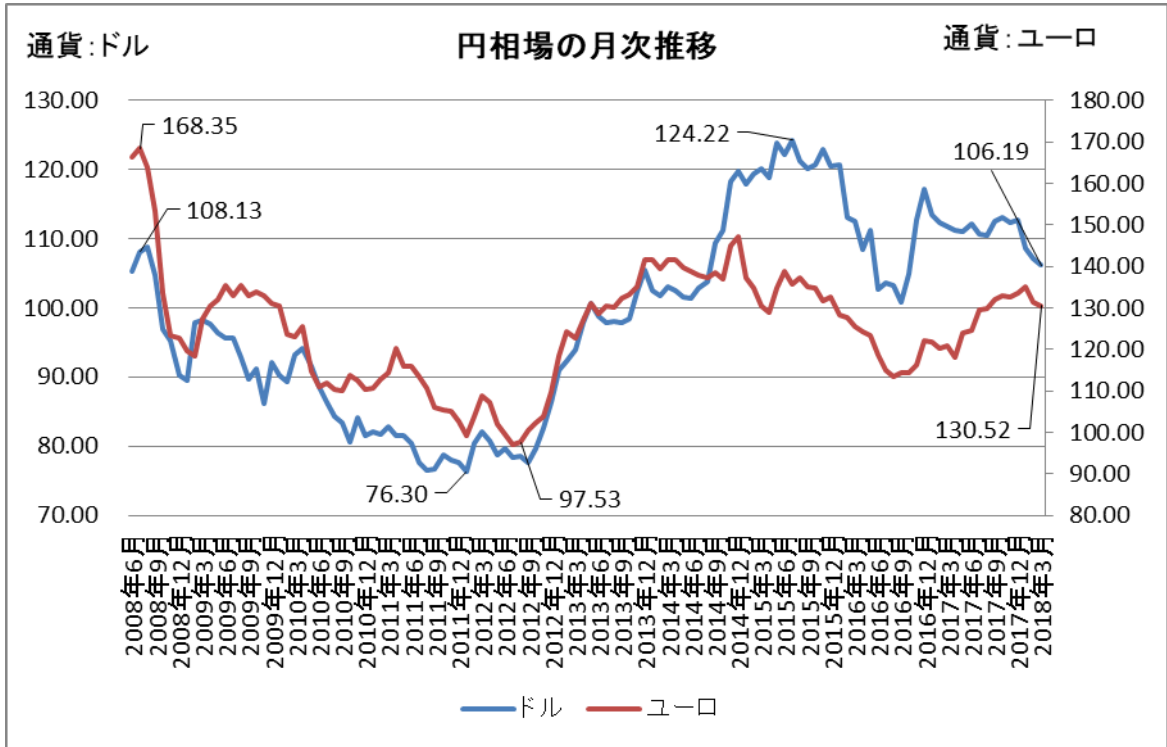
2. 訪日外客数の月別推移



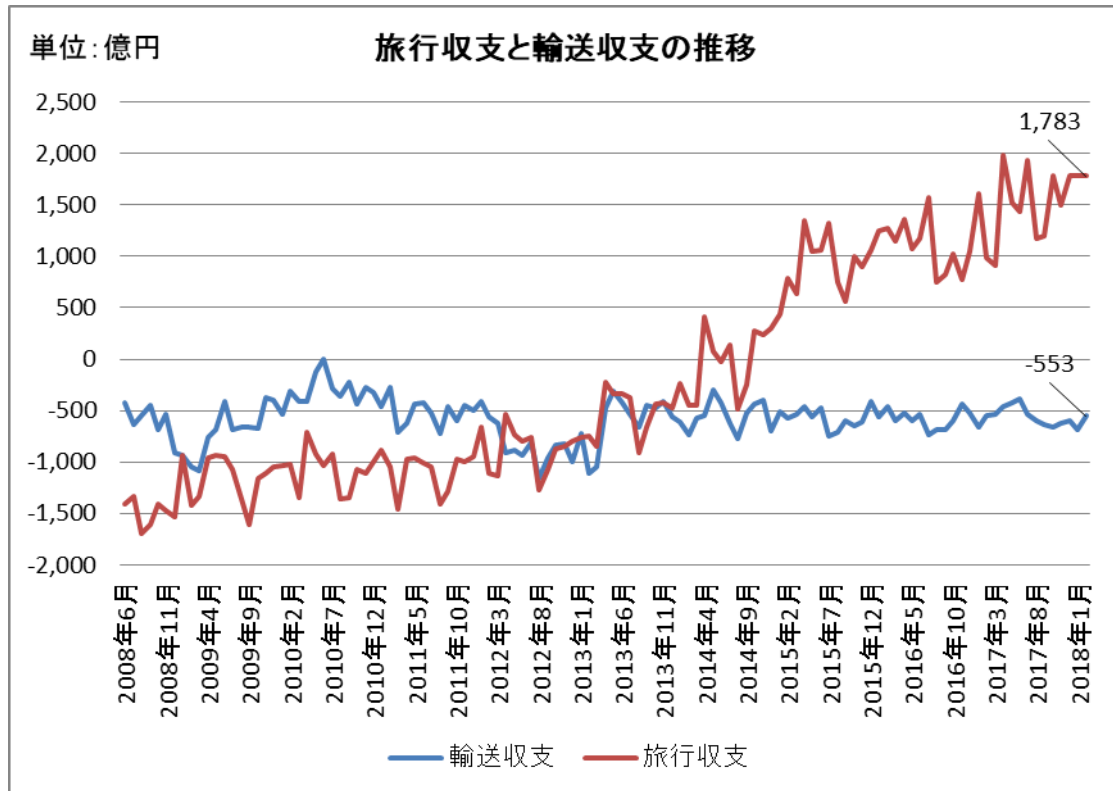
3. 出国日本人数の月別推移



4. 為替水準



5. 旅行収支と輸送収支



【出典】

日本政府観光局（JNTO）を基に株式会社リアルプロ・ホールディングスが作成
財務省国際政策のデータを基に株式会社リアルプロ・ホールディングスが作成
為替水準は日経新聞景気指標のデータを基に株式会社リアルプロ・ホールディングスが作成

【用語解説】

輸送収支：旅客運賃や財貨の移動、乗員を含む全ての輸送サービスに関する取引。

旅行収支：旅行者（ビジネス含む）が外国で使ったお金と外国人旅行者（ビジネス含む）が日本で使ったお金の収支。